

分別方法・指定袋は“変わりません”

みなさんの意識を“変えましょう”

吉見町から排出される燃やせるごみの中には、「紙・布類」が約52%、ビニール等のプラスチック類が約10%含まれています。これらの分別を徹底することで、燃やせるごみを減らし、資源化することができます。

また、燃やせるごみを焼却することで、温室効果ガスも発生しています。燃やせるごみを減らすことは、地球温暖化対策にもつながる重要な取り組みです。

燃やせるごみの呼び方を変えます

分けて 減らした 燃やせるごみ

名称を変更し、燃やせるごみの減量を図ります。

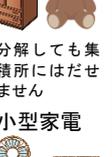
燃やせるごみの中にある「紙類」「プラスチック製容器包装類」等、資源化(リサイクル)可能なものを分別してほしい。また、生ごみの水切り徹底や食品ロスを減らすなど、ごみ減量化の取り組みを、より意識してほしい、という願いを込めています。

なお、分別方法と指定袋は、これまでと同じです。

資源化できるごみは リサイクルするごみ

「分けて減らした燃やせるごみ」や「有害ごみ」等のごみ以外の、資源化できるごみの総称を「リサイクルするごみ」とすることで、分別の意識を高めてほしい、という願いを込めています。

分別方法と指定袋は、これまでと同じです。

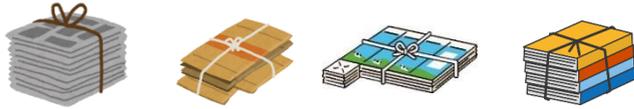
分けて 減らした 燃やせるごみ	リサイクルするごみ				有害ごみ	粗大ごみ等
	プラスチック 容器包装類	燃やせないごみ	ペットボトル	資源物		
 燃やせるごみ袋 ごみ減量 一人ひとりの自覚から ごみ減量 一人ひとりの自覚から 生ごみ 紙くず	 容器包装(資源)袋 ごみ減量 一人ひとりの自覚から ごみ減量 一人ひとりの自覚から プラマーク のあるもの	 燃やせないごみ袋 ごみ減量 一人ひとりの自覚から ごみ減量 一人ひとりの自覚から せともの、ガラス、 製品プラスチック	 PET キャップとラベルは 剥がしてください	 ビン類 缶類(飲料用のみ) 紙類・衣類	 蛍光管 電球(LED含) 電池 モバイルバッテリー	 粗大ごみ 分解しても集積所にはだせません 小型家電 持込の際は、電池等を外してください。

分けて減らした 燃やせるごみ

分けよう

古紙は分けてリサイクル

できるだけ4種類に分けてください。



- ①新聞・チラシ ②段ボール ③牛乳(紙)パック ④雑誌・雑がみ
※少量であれば、別の種類に混ぜてしまっても大丈夫です。

出し方 (紙類、衣類)

・ひもでしばる(ガムテープ OK)



中身が見えること

・透明なビニール袋に入れる

容器はゆすいでリサイクル



このマークのある容器は、できるだけプラスチック製容器包装類でだしてください。



出し方

・必ず、指定袋(右)に入れる。

・お菓子はカスを払い落とす。お弁当の汚れは、水でゆすぐ程度で構いません。

※洗剤等で洗って油分まで取り除く必要はありません。

※汚れがひどい場合は「燃やせないごみ」で出してください。



減らそう

食品ロスに取り組もう

国民一人あたり、おにぎり1個分(約103g)の食べものが毎日捨てられています。

食品ロスを減らそう

買物時に「買いすぎない」

- ①買い物前に、食材をチェック
- ②必要な分だけ買う
- ③期限表示を知って、賢く買う(てまえどり)

料理を作る際「作りすぎない」

- ①適切に保存する
- ②食材を上手に使い切る
- ③食べられる量を作る

外食時に「注文しすぎない」

どうしても残ってしまったら持ち帰りも検討

そして食べきる

生ごみの水切り徹底

生ごみの約80%が水分です。この水分をひと絞りするだけでごみ減量に効果があります。

- ①野菜の切り方を工夫して、生ごみを減らそう。
- ②ごみを水にぬらさない
- ③水切り器・水切りネットを活用しよう。
- ④捨てる前に乾燥させよう。



ごみになるものを断ろう リフューズ

ごみの元になるものを買ったり貰ったりしないことで、ごみを減らしましょう。

- ①エコバックを活用し、レジ袋をもらわない。
- ②割り箸やスプーンなど使い捨てのものをもらわない。



ごみの減量と資源循環が構築されたまち ～地球と未来のために4R～

物を無駄にしない(分けて減らす)取り組みへのご協力をお願いします。

分別・リサイクルのすすめ

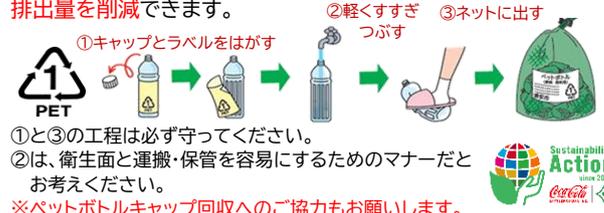
食用油のリサイクル

使用済み食用油の回収を始めました。回収した油はバイオディーゼルの燃料にリサイクルされます。



ペットボトルの分別

県内初のボトル to ボトル事業により、飲料用ペットボトルにリサイクルされます。従来製品と比べ、1本当たり約60%のCO₂排出量を削減できます。



二重袋はやめよう

プラスチック製容器包装類を捨てる際、小分けのごみ袋のまま指定袋に入れる、いわゆる二重袋で出すことはやめましょう。

「プラスチック製容器包装類」は、リサイクルする際、処理場で不適物・資源物を取り除くため、人の手によって選別されます。ごみ袋の中に別の袋が入っていると中身が確認できず、作業が困難になります。



危険物(禁忌品)は入れない

「分けて減らした燃やせるごみ」「リサイクルするごみ」にモバイルバッテリー等の危険物が混ざると、火災の発生などの危険があります。

- ①電池・モバイルバッテリーは「有害ごみ」
- ②スプレー缶は使い切り、穴を空けて「燃やせないごみ」

※カッターや刃物は刃先を紙・布で包んでください。

